

札幌市立北都小学校

全国学力・学習状況調査結果

4月に全国の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の調査結果について、札幌市教育委員会より市全体の調査結果の概要が発表されました。これを受けて、本校における「全国学力・学習状況調査」の結果の概要についてお知らせします。この調査結果は6年生の結果ではありますが、他学年にも共通する学校全体の結果として捉え、今後の指導改善に生かしていきます。

なお、文部科学省からも連絡がありましたが、今回の調査結果は児童の学力の特定の部分であることを踏まえてご覧ください。

本校の概要

【国語 A】（主として「**知識**」に関する問題）

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「言語事項」…全国平均を下回る。

「読むこと」

…全国平均をやや下回る。

【国語 B】（主として「**活用**」に関する問題）

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」…全国平均を下回る。

【算数 A】（主として「**知識**」に関する問題）

「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」…全国平均を下回る。

【算数 B】（主として「**活用**」に関する問題）

「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」…全国平均を下回る。

【理科】 「物質」「エネルギー」「生命」「地球」

…全国平均を下回る。

課 題

【国語】

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして**考えをまとめる**。
- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、**詳しく書く**。
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

【算数】

- 整数や小数の四則計算をする。
- 図形が敷き詰められて集まった角の大きさの和が360度になっていることを、**言葉や式を使って説明する**。
- メモやグラフの情報を関連付け、変化の様子を**言葉や数を使って説明する**。

【理科】

- 実験結果を基に、その理由を**説明したり分かったことをまとめたりする**。

* 教科を問わず、**記述式の問題における無回答率**が目立つ。

改善の方向

【各教科共通】

- 日々の授業の中だけで終わることなく、**チャレンジタイム**や**家庭学習等**を活用して**繰り返し練習する場**を設けることで、漢字の読み書きや計算力、各教科における基本的知識の定着を図っていきます。
- 自分の考えを整理して文章に表現したり、図やグラフ、実験結果から分かる情報を読み取って書き表したりと、**書く活動を充実**させていきます。

【国語】

- 朝の読書の時間（月・木）や学習時間における図書館利用だけでなく、読書活動を推奨し児童が**本にふれあう機会を充実**させていきます。

全国と比較して肯定的な回答が多かった質問項目

- 家で、学校の授業の**予習・復習**をしている

・「している」

→+5.6 ポイント



- 新聞を読む習慣**

・「ほぼ毎日読んでいる」、「週に1～3回読んでいる」→+4.3 ポイント

- 地域や社会で起こっている問題や出来事への関心**

・「当てはまる」

→+0.5 ポイント



全国と比較して否定的な回答が多かった質問項目

- 自分には、**よいところがある**

・「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」→マイナス 23.4 ポイント



- 地域の行事**に参加している

・「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」→マイナス 23.3 ポイント

- 家で、**自分で計画を立てて勉強**をしている

・「している」、「どちらかといえば、している」→マイナス 20.6 ポイント

- ボランティア活動**に参加したことがある

・「参加したことがある」→マイナス 19.4 ポイント

- 毎日、**同じくらいの時刻に寝ている**

・「している」、「どちらかといえば、している」→マイナス 16.4 ポイント

